	▼▼アル	カディア学報		646 客員研究員	究員 土持ゲーリ-	-法 一 (京都情報大学院大学	子院大学(副学長・教授
] >	務化に踏み切ったとき、	育学術新聞』第2741	の関係も明瞭でない。		SoTL学識研究に認	研究者として貢献でき	らの支援を受けたことに
简例	アメリカはFDに代わる	号を参照)。FD発祥国	教育学術研究とSOTL	うち	証のようなものはない。	る。数学や歴史などの学	由来する。ファカルテ
	次世代型CTL(Cent	アメリカでは絶え間ない	学識研究の関係	600	なぜなら、研究者の学問	問分野におけるSoTL	ィ・ラーニング・コミュ
影励	er for Teaching and	こ、しつう声を記点こ努力が払われた。とく	Conforoncoに参加 筆者は、後述のLilly	Den 10	正月するこ過ぎないいう分野における「学識」を	ox募上は学祭りけ 予識研究者が多いが、 C	つ学祭勺牧受車からな ニティーとは、8~12人 ト
デジアの	TLと略す)に舵取りを	した「学習パラダイム」	し、Milton D. Cox博	1	である。SoTL学識研	SoTL学識研究者の育	り、教授、大学院生およーの学習的主義が良大学院主義のなどでありません。
	した。当時、アメリカで	後は、SoTLという考		継続的サイクルであ	究者は、参照文献研究者	成を目ざしている。	び管理専門家のミックス
	はFDという言葉は「禁	えが普及した。		る。具体的には、学習に	(Referenced Scho	ファカルティ・ラーニン	である。そこでは1年間
大学教育は、このままで	句」で死語と化した。	SoT Lが 高等 教育 で	独インタビューをもと	関連した問題提起の文献	lar)となる。したがっ	グ・コミュニティーとLi	の共同研究を行い、3週,
いいのか	FDの後、CTLそし	普及するようになった過	に、SoTL学識研究に	調査からはじめ、プロジ	て、参照文献に掲載され	lly Conference	ひとにプロジェクトにも
昨年、京都大学を退職	て 最近は Scholarship	去20年、大きな変化が見	ついて調べたので、その	ェクトをデザインし、問	ることが認証となる。学	SoT L 学識 研究への)
した溝上慎一元教授が、	of Teaching and	られた。まず、教員が学	一端を以下に紹介する。	題解決の証拠(エビデン	界でも論文数でなく、引	「橋渡し」として注目さ	テクト
『大学生白書2018	Learning Soft	生の学習に関心を持ちは	両者の関係について	ス)を収集する。そこで	用数で評価するように、	れるのが、ファカルテ	シ フ つ プ ロ ジ 関 解 決 文 ロ ジ 回 ジ に ジ ロ ジ の ジ の ジ の ジ の シ の ジ の シ ジ の シ の シ の シ
は変えられない』(東言	SoTLと略す) という	究するようになり、学生じめ、批判的に分析・研	間でも意見が異なる。たに、この分野の専門家の	いて参照文献との北較考	TL学識研究者につなが 参照文南への携載かSo	ニティ(教受学習実践共	売的 デザー 3) 問 証拠: 4) 比判 5) ア+
堂、2018年)という	考えが広がった。このS	への積極的な「関与」が					D継 →
ショッキングなタイトル	cholarshipの日本語	顕わになった。そこで		を設て		ノたらい	
の著書を刊行し、201	訳は多岐にわたるが、本	は、証拠(エビデンス)		にて注明	何第一への	レショアし	能研 関連し 超 直 支考察
8年9月2日に日本記者	稿では、 学問分野におけ	にもといく (Evidenc					上学書 学習は 京献書
クジフで記者会見を行っ	る「学識」と定義つける。	e-Based Teaching	~ファカレティ・		ラーニング・コミュニティの形式	ケィの杉戎~	SoT
08年、大学没置基準改化の108年、大学没置基準改化の108年、大学没置基準の108年の108年の108年の108年の108年の108年の108年の108年	現在・未来	研究が主流こなり、研究 and Learning) 調査				ことチャ) 4 ,
正でFDが義務化され	2018年6月6日、		とえば、両者を峻別すべ	察を行い、これまでの研	る。換言すれば、スカラ	同体)と呼ばれるもの	院
た。結果的にみれば、過	帝京大学学修・研究支援	義的となった。	きでなく、互いに関連す	究との違いをアセスメン	ーシップとは、参照文献	で、オハイオ州マイアミ	
去10年余り、FDは大学	センター開設記念シンポ	SoT L は 日本 国内 で	ると主張する研究者もい	ト した後、SoT L 学識	に列挙された「学識経験	大学Cox博士の教育革	教育
改革に貢献しなかったこ	員	も取り組みが行われる	る(詳細は、イーロン大	研究に値するかどうか判	者」ということができる。	新センター(Center	
とになる。なぜなら、こ))) 一 开究	が、SoTLとは何か。	学の動画 https://w	断する。その結果を踏ま	後述のLilly Conf	for Teaching Exce	
の改正にに構造的欠陥力	一日の日本	これまでの教育学術研究	ww.youtube.com/wa	うて 発表や刊行のため	erencesの 発表に 限ら	11ence」にある。これ	とつき クルーフ 活動を す
一務化が担当教員に対して おごた。それに HI記	持客	ように関連しているの	kを参照)。これを以下	し、ピアレビュー(司尞のフロオーサルを携出	学会などこおハてもティープ	SoTL学識研究の発	めの共司セミナーが開かってい いってい いってい いってい しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうせいせい ひょうしん しょうしん ひょうしん しょうしん さんしょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん ひょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん ひょうしん しょうしん ひょうしん ひょう
ではなく、大学に対して	±	か。どうすれば、SoT	の図表「教育学術研究と	評価)で認められれば、	ーチングやラーニングに	表・刊行の機会を提供す	れる。2018年11月の ニ
行われたため、大学間で	ジウムでディ・フィンク		SoTL学識研究の継続		関するプロポーザルが認	WLilly Conferenc	Lilly Conferences
「生がた耑ひ牧員まで周田格差か生し」FIの重要	過転・見主・ 未来こつい	宅」各計)」言えるのか	ら兑月する。それは、高的サイグル」を用いたか	rcocごの発長が午可され 大会L111y Confere	圣こ刊ティーを开宅であ	る。LillyConform	長が62ツンヨノあっこ。 こてに SCII関連の第一の
できなかったからであ	て講演した(詳細は、	が不十分である。したが	等教育におけるティーチ	れる。すなわち、SoT	れば、SoTL学識研究	ncesの名称は、197	SOT Lとボイヤー ナ
る。アメリカにおけるF	「FDとは継続的な改善	って、教育学術研究(S	ングとラーニングの基礎	L学識研究として認めら	と呼ぶことができる。す	9年初期のアイデアがイ	アーネスト・ボイヤー
Dの歴史を顧みれば、日	〜アメリカのFDの過	cholarly Teachin	又長いら出洛ノ、シーニー知識に関する参照文献の	ーーが重要条件になる。		L:Lin と安つ会土い ーライ・リリー (Eli	を算くしていき、とう言うが1990年にSoTL マ
マオ2008年1011章	野花・ララ・コ	のとうでは、一個で一個で	りまえらと多し そこい	」 大 重 要 多 化 れ 大 る	ざ近して 2011年前	1113/2社の会社大	な対シーしたと言うなの気

の定 った。 の発 lces 肩の 開か のた $_{\rm L}^{\rm T}$ ングやラーニングに関連 る必要はない。カリキュ を及ぼすかを研究対象に の学習にどのような影響 ラムやサービスラーニン が、今ではそれに限定す る。すなわち、ティーチ TL 学識研究とみなされ グに関する研究も、学生 するものであれば、So

ニングに関するピアレビ ューされた発表あるいは Lをティーチングとラー 革新センターは、SoT 主流と考えられてきた った。マイアミ大学教育 が、 SoT L 学識 研究の 刊行物と定義づけた。 ームに関連した取り組み 義づけに関して混乱があ したがって、クラスル ピアレビュ D. Cox, adapted from Laurie Richlin 1993 とえ ニテ 識研 ティ $_{\mathrm{L}}^{\mathrm{T}}$ の 範 研 究 的デ 究と 催さ i 1 1 $\frac{1}{9}$ に 28 Sor הוו 用し グ・ ファ・ 的デ ミン ける イ イ 究 活 オ に 用 ング でフ ピ \mathbf{C}

プロポーザル 6) 発表 7) 刊行

SoTL に値するか?

2
0
1
9
•
5
•
8

ジェクトデザインを互い

に、同メンバーは、プロ	において重要なのか、そ
いが月らいごある。	ィーバのアーを徴用宅
グ・コミュニティー	なぜ、ファカルティ・
ァカルティ・ラーニン	がっている。
科学的調査によれば、	が、現在は多岐の領域に
発であると峻別できる。	授業研究」と呼ばれ
学びを豊かにする教育開	クトであったことから、
い教育者となり、学生	ティーチング・プロジェ
あり、SoTLはより	学識
と	ニティーを活用したSo
FDはより良い講美	ィ・ラーニング・コミュ
の形成	催された。ファカルテ
ニティー・ネット	イオ州マイアミ大学で開
ィ・ラーニング・コ	究に関する大会が、オハ
日本におけるファ	活用したSoTL学識研
単独でもできる。	ング・コミュニティーを
や刊行は、グループ	でファカルティ・ラーニ
筆者に語っている。発	illy Conferences
とできるとCox博士	1981年に、 最初のL
Lプレゼンターになる	に24年間携わっている。
なので、1年間でSoT	SoTL学識研究の促進
プ・プロジェクトも可	ニティーを活用し
過報告書やフォローア	イ・コ
プレゼンテーションの	Cox 博士は、
りやすい	した Sor L 学識
を多く使用していない	・コミュニティー
されたもので、専門田	ファカルティ・ラーニン
家の	の範疇に入る。
もいるが、「授業研究	*
きないとしり込みするま	的データに裏づけられた
oTL学識研究	ータだけでなく
数年を要するので、簡単	なる。統計的・数
	7
教員の多くは、So	けるティーチングとラー
受けられるか	、初年次教育に
フィードバックが継続	対象になる
は同僚からの	べてがSoTL

t

い。 ークづくりに尽力した 抜本的に見直される状況 ミュニティー・ネットワ sia ConferenceA で、時宜を得た提言であ もつながる有効な方法 SDそして企業内研修に みは、FDのみならず、 を 促進 し、 SoT L 学識 下で、ファカルティ・ラー えることができる。日本 論できるプロセスを踏ま 授)に就任した。これか (詳細は、https://ww 18日に香港で開催される いうものが形成され、S に批判して、早くから議 らはFD、そしてSoT 専門職大学院・京都情報 s-asia.com/を参照)。 研究へとつなげる取り組 ー・ネットワークを形成 ITを駆使して、ファカ L学識研究促進のために w.lillyconference いる。今年は、5月16日~ ニング・コミュニティ におけるFDのあり方が ルティ・ラーニング・コ 大学院大学(副学長・教 ニングに関する共同研究 oTLの発表が行われて し、ティーチングとラー 筆者は4月から、IT アジアでもLilly-/